

基本理念	将来像	基本目標	施策番号	施策名	10年後の姿	施策推進の方向性	第7回審議会		パブコメ	
							委員意見	清瀬市対応	市民意見	清瀬市対応
ともに未来をひらく笑顔とみどりがあふれるまち清瀬	「子どもも大人も学びあい育ちあう」きよせ	地域全体で子どもの育ちを支える仕組みの整備	施策1-111	子育てに関する制度やサービスが行き渡り、安心して出産や子育てができるようになります。また子どもや子育て世帯を地域社会全体で見守る意識が深まり、地域と共に子どもの成長を喜び合えるようになっています。	<p>①全ての子どもの育ちを支援します 子どもの育ちは地域社会全体で見守るものとの意識を醸成するとともに、子どもの権利を尊重しながら、誕生前から就学期以降まで切れ目ない支援を行います。また、適切な保育園定員数を判断した上で待機児童を解消するなど、全ての子どもが個々のニーズに合った施設を利用できるように努めます。さらに、障害児・医療的ケア児等多様な支援ニーズに対応するため、保育の質の向上を目指します。</p> <p>②子育て世帯に経済的支援を行い、その手続きをDX化を進めます 子育て世帯に経済的な支援を行います。環境によって子どもの育ちに格差が出ることがないよう、特にひとり親家庭等の困難を抱える家庭の生活基盤が安定するように、関連制度について周知を進め、適切な支援を行います。 児童手当や医療費の助成制度等、子どもに関する各種手続きにおいて、より迅速かつ便利になるようDX※化を進めます。 ※デジタル技術を活用して行政や社会の仕組みを革新し、利便性や効率性を向上させる取組</p>			<p>①医療的ケア児の通園が楽になるようになってほしい ②保育士の育成について明記してほしい ③保育施設、保育者、支援者の質、定員などの環境整備充実について明記してほしい</p>	<p>①医療的ケア児についての大枠は計画に記載済みなので、具体的な取組については実行計画にて検討</p> <p>②保育の質については記載済み、保育士の育成など具体的な取組は実行計画にて検討</p> <p>③保育の質については記載済み、具体的な取組は実行計画にて検討</p>	
		子どもの成長を支える社会の構築	施策1-112	すべての妊産婦および子育て世帯が安心して、出産・子育てできる支援体制が整っています。また、困難を抱えた児童やその家庭が、身近な相談窓口に気軽に相談でき、解決のための支援が得られる相談体制が整い、希望を持って暮らすことが出来ています。	<p>①こども家庭センター機能を強化します すべての妊産婦および子育て世帯が切れ目なく支援するとともに、困難を抱えた児童とその家庭が地域で安心して生活できるよう児童福祉機能と母子保健機能を一体的に運用します。特に、乳幼児等を育てる家庭に対して訪問を行い、さまざまな悩みや相談に対応するとともに、関係機関と連携しながら必要な子育て支援サービスへつなぐなど、孤立しがちな子育て家庭を支援します。</p> <p>②子育てに関する様々な相談・情報の発信が出来る窓口を充実します 安心して子育てに取り組むことができるよう、母子保健や子育てに関する講座などを開催し、情報発信を充実します。また、市民にとって身近な場所に子育て支援サービスに関する情報提供や子育てについての相談ができる窓口を設置し、気軽に相談できる体制を構築します。</p> <p>③子育てに関する様々なサービスを充実します 子育てを支援するため、地域資源を活用するなど公民連携により、核家族やひとり親家庭、共働き家庭等、多様な子育て世帯に対し、ニーズに応じた子育て支援サービスを提供します。また、困難を抱えた家庭等に対し、保護者のレスバイト(休息)を目的とした一時的な子どもの預かりや、産後集中的に利用できる各種サービス、地域の中で過ごせる居場所の提供等について充実を図ります。</p>			<p>①施策名「学校教育の充実」とあるが、不登校の問題もあるため、義務教育を家庭や民間機関で受けられるシステムを構築するため、「学校教育等の充実」としてほしい。</p> <p>②自己肯定感や自己有用感は「撓やかで強かな心」の特に「撓やかさ」に含まれる概念と捉えている。ただし自己肯定、自己有用の概念は生きる根本となることと共に、「撓やか」にそれが含まれることがわかりにくくとも事実であることから、「また、子どもたちの主体性を高める取組や自己肯定感を高める取組を工夫することで、豊かな心と撓やかで強かな心を育成します。」に修正する。</p>	<p>①不登校児童・生徒に対する、家庭等におけるオンライン授業やフリースクール等との連携は、学校教育として実施するものであり、ご意見の内容は包含されていると捉え、原文通りとする。</p> <p>②「学力調査に基づく授業改善等を通して」は教員の指導力向上を図るための手段の例として示したものだが、限的な印象を与えることから、削除する。</p>	
	一人ひとりの学びと学びあいの充実	学校教育の充実	施策1-121	時代に即した教育環境や一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援環境が整備され、情報機器の効果的な活用や地域と連携・協働した取組等の推進によって学校教育が一層充実することで、子どもたちに「確かな学力」や「豊かな人間性」、「健やかな体」といった「生きる力」が育まれています。	<p>①「確かな学力」を育成します 学力調査に基づく授業改善等を通して教員の指導力向上を図るとともに、9年間を見通した教育課程の工夫、情報機器の効果的な活用、習熟度別指導・放課後補習の充実などを通して、子どもたちの基礎学力の確実な定着を図り、さまざまな課題に対して自ら考え判断し、行動できる力を育成します。</p> <p>②「豊かな人間性」を育成します 人権教育や道德教育、命の教育の充実を図るとともに、読書活動や様々な体験活動の意図的・計画的な推進を通して、また、子どもたちの主体性を高める取組を工夫することで、豊かな心と撓やかで強かな心を育成します。</p> <p>③「健やかな体」を育成します 健康教育や食育等、自らの健康を保持増進できる力を高めるための取組の充実を図ります。また、体力テストに基づく授業改善や、家庭や地域と連携した運動の日常化などを通して、子どもたちの体力の向上を図ります。</p> <p>④一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援の充実を図ります 特別支援教育の充実や不登校支援の推進などを通して、子ども一人ひとりのニーズに応じた支援の充実を図ります。また、教員研修を実施したり、特別支援教育や不登校支援の取組等を広く周知したりすることで、教員、子ども、保護者、地域に向けた理解、啓発を推進します。</p> <p>⑤教育環境を強化・充実させます 連携：一貫教育校や義務教育学校など、子どもの育ちや学びがつながり、深まる教育制度の導入や、学校施設及び情報機器等の環境整備を進めることで21世紀型の教育を創造、推進します。また、学校の働き方改革を推進することで、教職員が心身ともに健康で、やりがいを感じながら教育活動に取り組める環境を創ります。</p>					

基本理念	将来像	基本目標	施策番号	施策名	10年後の姿	施策推進の方向性	第7回審議会		パブコメ	
							委員意見	清瀬市対応	市民意見	清瀬市対応
ともに未来をひらき 笑顔とみどりがあふれるまち 清瀬	「子どもも大人も学びあい育ちあう」きよせ	一人ひとりの学びと学びあいの充実	施策1-122	地域による子どもの育ちと学びの支援	<p>①子どもたちの成長を地域で支える機運を高めます 子どもたちが人とのつながりを感じながら、多様な人々との関わりを通して社会性や人間性を育み、安心して成長できるよう、市民同士がつながり合うとともに、教育・福祉・防犯などの関係機関と連携し、地域ぐるみで子どもたちを見守り育てる機運を醸成します。</p> <p>②地域と協働した学校での学びの充実を図ります 学校が地域と連携し、体験活動や探究的な学びを学習活動に位置づけて推進し、子どもたちが地域の多様な人材や体験と出会い、学びを深められるようにします。また、学校の取組に地域が関心を寄せ、理解し支える関係づくりを進め、地域総ぐるみで子どもたちを育む環境の一端を担います。</p> <p>③子どもたちの安全な居場所を充実させます 安心して過ごせる居場所として児童館や学童クラブ、放課後子ども教室『まなべー』を配置し、異年齢交流や集団活動などを通じて子どもたちの社会を生き抜くための力や、人と関わりながら自己を成長させる力が育まれ、心身ともに健やかに成長できる環境を整えます。</p>			<p>①学童クラブの質の向上について記載してほしい</p> <p>②②の本文「学校が地域と連携し」を「学校が地域や団体・事業者と連携し」に修正してほしい</p> <p>③③の本文「放課後子ども教室『まなべー』を配置し、」の部分を「放課後子ども教室『まなべー』を配置するとともに、子ども食堂やフリースクール等を提供する民間機関とも協力し、」と修正してほしい</p> <p>④④④の本文、子どもの居場所として「児童館」「学童クラブ」「まなべー」が配置されているが、これらはそれぞれ目的・対象・機能が異なるため、各施設の機能や目的を明確に整理したうえで、子どもの成長段階やニーズに応じて有機的に連携させる方向性を計画の中で明示することを提案する。</p> <p>⑤児童館や学童クラブ、まなべーは役割や対象は異なるが、学びと育ちに関わる「子どもの安全な居場所」という共通の目的がある。また、ご意見の趣旨は「子どもたちの社会を生き抜くための力や、人と関わりながら自己を成長させる力が育まれ、心身ともに健やかに成長できる環境」に包含している。このため原文の通りとする</p>		
			施策1-123	生涯学習・文化・芸術・スポーツの支援	<p>①世代を超えた学びの機会を提供します 生涯学習にかかる関係機関と連携し、市民ニーズに応じた生涯学習事業を展開し、幅広い世代の生涯学習の機会を充実させます。また、市民が生涯を通じて意欲的に学び続けることができ、得た知識や技能を地域へ還元することができます。場の創出を図ります。</p> <p>②市民文化・芸術の充実と発展を図ります 市民が主体的に文化・芸術活動に取り組めるよう支援を行い、身近な場で創造的な体験を楽しめる機会を提供します。さらに、地域で育まれた文化・芸術の価値を共有・発信することで市民の文化的・創造的な交流や共感を促進し、心豊かな生活を支える施策を展開します。</p> <p>③気軽にスポーツ活動に親しめる機会を提供します 市民が気軽にスポーツ活動に親しむことができる環境を整備するとともに、多様な機会や場の充実を図ります。また、地域のスポーツ振興やイベントを推進する人材を育成し、協働の充実を図ることで、スポーツの普及を進めるとともに市民の健康の増進や交流の活性化を目指します。</p>		<p>①市民協働のまちづくりの姿として一方的な行政サービスの提供は相応しくないとのご意見に共感する。10年後の姿の成就には市民の主体的な活動が必須であり、市はそのような活動の活性化を図る必要がある。その取組みの方向性として活動しやすい施設や活動のきっかけの機会を提供していかたいという意味を込めております。</p> <p>②②の本文について、文化芸術といつても分野は多岐に渡りますが、特に注力する分野を特記できませんか?音楽とか美術とか。</p> <p>③施策名について、「生涯学習・文化・芸術・音楽・スポーツの支援」と「音楽」を入れて</p>	<p>①音楽施策を載せてほしい</p> <p>②②の本文について、文化芸術といつても分野は多岐に渡りますが、特に注力する分野を特記できませんか?音楽とか美術とか。</p> <p>③施策名について、「生涯学習・文化・芸術・音楽・スポーツの支援」と「音楽」を入れて</p> <p>④市は、市民が多様な文化・芸術活動の中から自らに合った活動に出会い、親しみ続けて行くことができるよう支援し、地域の文化・芸術の発展を育んでいくことを目指している。そのため、注力する分野を限定して示すことは考えておらず、原文のままとする。</p> <p>ただし、今年度策定中の教育マスターplanの検討下で支援のあり方を議論し、長期総合計画の実行計画にも考え方を示す。</p> <p>また、ご指摘のエンドイヤーコンサート等については施策4-422シティプロモーションの推進に係る方向性に包含している。</p> <p>⑤音楽は文化・芸術活動の分野の一つである。そのため、施策名及び10年後の姿の文言中「文化・芸術」に、粒度の異なる文言を並列挙することは考えておらず原文のままとする。</p>		
「思いやりに包まれ健やかに暮らす」きよせ	誰一人取り残さない支援の充実	施策2-211			<p>①地域全体における福祉課題の市民理解の促進を図ります 誰もが地域社会に居場所を確保する事で、地域との繋がりを自覚できる様になっており、すべての人が年齢や状況を問わず、その人のニーズに応じた適切な支援が受けられるようになっています。また、地域共生社会の実現に向けて、様々な複合的な課題を持つ方や世帯に対し、重層的支援体制を整備し、誰一人取り残すことなく対応します。また、ひきこもりの方の家族の相談先となり、ひきこもりの方への働きかけ(アウトリーチ)を行い、個々の状況やニーズに応じた支援を行います。</p> <p>※一つの支援機関だけでは解決に導くことが困難な、複合的な課題を持つ方や世帯に対し、重層的支援体制を整備し、誰一人取り残すことなく対応します。また、ひきこもりの方の家族の相談先となり、ひきこもりの方への働きかけ(アウトリーチ)を行い、個々の状況やニーズに応じた支援を行います。</p>	<p>①市は地域共生社会という理念を掲げているので、重層的支援を入れるのであれば、10年後の姿の中に「地域共生社会」という言葉を入れるのが良いと思う</p> <p>②バブコメ前に追記済み</p>				

基本理念	将来像	基本目標	施策番号	施策名	10年後の姿	施策推進の方向性	第7回審議会		パブコメ	
							委員意見	清瀬市対応	市民意見	清瀬市対応
ともに未来をひらく 笑顔とみどりがあふれるまち 清瀬	「思いやりに包まれ健やかに暮らす」きよせ	施策2-212	高齢者の支援			<p>①高齢者が安心して暮らせるように支援します 誰もが住み慣れた地域で自分らしく不安なく暮らし続けられるよう、相談体制の充実を図るとともに、医療・介護の連携、地域住民や関係機関・団体等の協働による生活支援や見守り、認知症施策や権利擁護の推進に取り組みます。</p> <p>②高齢者が地域で活躍・参加できる仕組みや組織を支援します 誰もが生きがいを持ち、地域社会の中で人とつながりながら、自分らしくいきいきと暮らせるよう、地域交流の場の充実、活動支援、技能や経験を発揮できる環境づくりに取り組みます。</p> <p>③高齢者が元気に暮らせるように支援します いつまでも元気に、健康な生活を送るために、健康づくり支援や介護予防事業の充実、運動できる環境づくりを推進します。また、市民が主体的に実施できる事業の支援を行います。</p> <p>④介護サービス基盤の充実と人材確保に取り組みます 介護が必要となっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、介護サービス基盤の充実を図るとともに、介護人材の確保、家族介護者の離職防止等に取り組みます。</p>				
		施策2-213	生活の安定の確保及び自立			<p>①安定した生活のための支援と自立のための支援を行います さまざまな要因から支援が必要な市民が、生活面や教育面から必要な支援を受けることで、安定して生活し、自立に努めています。また、民生・児童委員、社会福祉協議会、事業者などのさまざまな団体や市民が連携して地域福祉が実現することで、障害の有無や年齢にかかわらず誰もがいつまでも安心して生活できています。</p> <p>②経済的理由により、就学困難な児童・生徒の保護者に対し、必要な支援を行います 高校や大学への進学に意欲的に取り組む子どもたちが、経済的理由により就学困難な状況とならないよう児童・生徒の保護者に対し必要な支援を実施します。</p>				
		施策2-214	障害者（児）の支援			<p>①障害者の社会参加や就労を促進します 多様化・高度化する社会参加のニーズに応え、関係機関と連携しながら、障害のある方の社会活動への参加や雇用・就労・生涯学習の機会と場の提供を促進します。</p> <p>②障害への理解と地域での交流を促進します 共生社会の実現に向けて、周囲の人たちに障害への理解が深まるよう、福祉・教育・地域等と連携しながら地域社会での理解促進と交流を図ります。また、障害者施設の紹介、作品の展示・販売を行うことで、共生社会の実現に向けた障害者の活動について普及・啓発活動の促進を図ります。</p> <p>③障害者（児）の支援体制を整備します 障害者（児）の地域での充実した社会生活を実現するために必要な、生活介護、療養介護、自立訓練、就労移行支援及び就労継続支援等の日中活動、余暇活動、グループホームや居宅介護等のサービスや地域の社会資源を組み合わせて利用し、障害者が相談支援体制によって支えられ、地域での充実した生活を送ることが可能となるよう取り組みます。</p> <p>④安心して暮らせる環境を整備します 市民誰もが年齢や障害の有無に関わらず、安心して暮らし、社会参加できる快適な生活環境を送れるようバリアフリーの環境整備や情報アクセスibilitティの向上等を推進します。</p>				

基本理念	将来像	基本目標	施策番号	施策名	10年後の姿	施策推進の方向性	第7回審議会		パブコメ						
							委員意見	清瀬市対応	市民意見	清瀬市対応					
ともに未来をひらく笑顔とみどりがあふれるまち清瀬	「健幸づくり」の推進	施策2-221	健幸づくりの支援			<p>①がんを含めた生活習慣病の発症予防と重症化予防を推進します 自らの健康状態を把握できるように健康診査やがん検診の機会を提供します。また、より多くの市民に受診を促すために健（検）診の重要性を広く啓発します。さらに、改善が必要な症状が認められた市民に対しては生活習慣の見直しや医療機関への受診を勧奨し、生活習慣病の重症化予防の取組を推進します。</p> <p>②自発的に健康づくりを行うことができる環境づくりを推進します 健康的な生活習慣を実践できるように、食事、運動、休養、飲酒、喫煙、口腔の健康について、健康づくりを促す取組の機会を提供します。また、世代により情報の取得方法が異なることから、対象に合わせた情報発信に努め、それぞの世代の健康課題や特性に応じた健康づくりが実践できるように、生涯を通じて切れ目のない支援を推進します。</p> <p>③健康を支え守る社会環境の整備を推進します 医療提供体制の偏在化解消と災害時医療体制の充実のために、東京都や医師会および近隣自治体との連携を強化し、より緊密な関係性を醸成します。また、かかりつけ医療機関の定着化を推進します。</p> <p>④こころの健康づくりを推進します 誰もが、安定したこころの健康を保つことのできるよう、ストレス軽減方法や適切な睡眠のとり方、身近な相談場所や専門機関等の普及啓発を図るとともに、関係機関や地域と連携・協働しながら、こころの健康づくりを推進します。</p>	<p>① ① 「がんを含めた」とあるが清瀬市はそんなに多いのか ② ②について、一文目に「誰もが心理的に追い詰められるところなく」とあるが、本施策の趣旨は、心が追い詰められない社会を作るのではなく、追い詰められないような心持ちを育てるための支援だと思うので、例えば、「安定したこころの健康を保つことのできるよう～」から始めて、を苦しまれない社会をつくるのではなく、「安定した～普及啓発を図るとともに」から始まって「ストレスを感じたときには関係機関や地域と連携・協働しながら、こころの健康づくりを推進します」という風に文章の順番を変えるのが良いと思う。 もし、追い詰められそうになったときには、こういった機関があるという書き方が良いと思う。</p>	<p>① ① 「がんを含めた」を削除する。【理由】生活習慣病の中で、死亡率が最も高いのががんであることや、生活習慣病の中にがんが含まれていることを知らない人もいる中で、敢えて「がんを含めた」と特出ししていたが、委員の意見を踏まえ、清瀬市が特別多いわけではないし、生活習慣病で通じることから、「がんを含めた」を削除する</p> <p>② パブコメ前に修正済み</p>	<p>① 10年後の姿の中で、「公共の喫煙所や店頭の灰皿がなくなり、子どもも大人も安心して歩ける綺麗な空気のまちになります」としてほしい</p>	<p>① 喫煙にすることや綺麗な空気のことは、②や③に包含している。喫煙などに限定した取組は実行計画にて検討する</p>					
	「思いやりに包まれ健やかに暮らす」きよせ	施策2-222	公的医療保険制度の適切な運営			<p>①健康意識の向上を図ります 健康寿命延伸のため、特定健康診査、特定保健指導、後期高齢者健康診査等の受診率を向上させ、健康意識づくりのきっかけをつくり、適切に医療へ接続するよう努めます。</p> <p>②医療費の適正化と安定した財政基盤の強化に取り組みます 公的医療保険制度の安定した運営を図るために、生活習慣病予防やマイナ保険証※、ジェネリック医薬品の利用促進などに取り組むことにより、データに基づくより良い医療が受けられるとともに医療費の適正化に努めます。また、財政基盤強化のため、社会情勢に合わせて保険税率を見直し、財政基盤の強化に取り組みます。 ※健康保険証の利用登録されたマイナンバーカード</p>									
協働によるまちづくりの推進	「ジェンダー平等社会の推進	施策2-231	ジェンダー平等社会の推進			<p>①ジェンダー平等に関する市民理解の促進を図ります 固有的な性別役割分担意識や男女共同参画、L G B T Qに対する理解と関心を高めるための各種講座を開催するとともに、広報誌の発行やS N Sの配信等により広く家庭、職場、地域などのジェンダー平等の啓発を実施します。</p> <p>②困難を抱える女性を支援する体制を整えます DV被害者、困難な問題を抱える女性を支援するための相談体制を整え、関係機関との連携を図り、あらゆる暴力の排除に努めます。</p> <p>③就労をはじめとした女性の活躍支援を推進します 女性の起業を含めた多様な働き方を応援するための講座、イベント等を開催し、女性が活躍できる環境整備を推進します。</p>									
	市民協働・人権啓発・平和の推進	施策2-232				<p>①地域貢献活動を支援し、協働事例の増加を図ります 自治会活動や地域活動、市民活動といった地域貢献活動をさらに活性化するため、市民活動センターの中間支援組織としての機能などを活用しながら、各団体が抱える課題解決に向けた支援を行い、各所管部署に連携を促すことで市民・大学・企業・市民活動団体等との協働事例の増加を図り、協働によるまちづくりを進めます。</p> <p>②人権啓発と多文化共生に向けた取組を推進します 小中学生向けイベント等の人権啓発活動を通じて、日常生活における人権に関する課題解決を進めます。また、外国人に対する理解や支援を推進するため、各所管部署の横断的な連携を取り組みます。</p> <p>③平和意識の醸成を推進します 体験型事業など、多様な形態で平和の大切さを考える事業を実施し、命の尊さを学ぶ機会を設けます。</p>									

基本理念	将来像	基本目標	施策番号	施策名	10年後の姿	施策推進の方向性	第7回審議会		パブコメ		
							委員意見	清瀬市対応	市民意見	清瀬市対応	
「思いやりに包まれ健やかに暮らす」きよせ	協働によるまちづくりの推進	施策2-233	暮らしの相談体制の充実	消費生活や市民相談制度に関する情報提供を充実することで、市民の「判断する力」が向上し、自分が違和感に「気づく力」・きっぱりと「断る力」・一人で抱えず、制度を活用して「専門家に相談する力」を身に付けた市民が増えています。また、消費者団体の活動かつ継続的な活動を支援することにより、社会的課題の解決のために様々な活動へ主体的に参画・協働する市民が増えています。	①日常の悩みごとの解決に向けて支援します 市民の日常生活における様々な悩みごとについて、相談しやすい体制を充実するとともに、相談者に対して情報提供及び助言を行うなど、解決に向けた支援に取り組みます。 ②消費者被害の未然防止や解決に向けて取り組みます 高齢者を狙った悪質な勧誘販売等を防ぐため、消費者被害に関する啓発活動に取り組みます。また、市内の各大学と連携し、若年層に対する消費者被害防止の啓発を強化します。さらに、消費者被害が発生した際には、消費生活相談の窓口において、解決に向けた支援に取り組みます。 ③市民による自主的な消費者活動を支援します 市民が自主的に消費生活について学び、情報交換を行える環境を提供するために、消費生活に関する学習や意見交換の場を提供します。加えて、市民や地域コミュニティ団体に向けて消費生活に関する情報を幅広く提供するとともに、消費生活に関連する事項についての知識を深める取組を行います。						
ともに未来をひらく笑顔とみどりがあふれるまち清瀬 「安全・安心・快適に暮らせる」きよせ	適切な土地利用の推進と住環境の整備	施策3-311	駅周辺は活発でにぎわいの中心となり、幹線道路では沿道空間の活用を促進し、魅力ある商業機能が集積されています。一方で、本市の特徴でもあるみどりや農地を活かし、低層住宅地を中心にみどりや農地、住宅地が調和し、安全・安心・良好な居住環境が保全されています。	①都市計画道路等の都市基盤の整備を推進します 都市計画道路等の都市施設や都市機能の充実を図るとともに、土地区画整理事業を活用して、良質な都市基盤の整つた豊かな生活ができるような都市づくりを目指します。	①大江戸線延伸についての話がある。新座市が土地の確保などのうべきをしている。施策311や312に含めなくて良いのか。何らかの言葉を足しながら残しておいた方が良いのでは。	①423に掲載済みで、施策は原則課ごととしているので、311には含めない ②住宅の耐震についてはパブコメ前に削除済み					
住みよいまちづくりの推進	道路ネットワークと交通環境の整備	施策3-312	市民と協働することにより適切な都市基盤が形成されるとともに、各種公共交通機関の充実が図られることにより、市内外のアクセスが向上し、将来にわたり、誰もが住みやすく活気あふれるまちになります。	①市道の維持管理及び新設道路の整備を促進します 市道の維持管理及び新設道路の築造による快適な交通環境を整備するために、各種計画に位置づけられた計画を適切に実施し、快適な交通環境の整備に努めます。 ②持続可能な地域公共交通の運行を目指します コミュニティバスについては、地域公共交通會議等を通じて地域公共交通に係る関係機関と連携することにより、持続可能な地域公共交通を実現し、市民の方に安心で快適にご利用いただける交通環境の整備を目指します。							
環境にやさしい取組の推進	汚水・雨水の処理	施策3-313	下水道施設の老朽化対策や地震対策、また、道路の浸水対策など、市民の安全を守り、安心で快適な生活を支える施策を着実に推進していくとともに、民間企業のノウハウや創意工夫を活用し、事務の効率化や経営環境の強化を進めています。	①下水道施設の老朽化対策・地震対策を推進します 下水道管の点検・調査、その結果に基づく修繕・改築を実施し、ストックマネジメント事業を推進します。また、地震が発生した際、災害拠点病院等における下水管とマンホールの接続部のズレや変形を防ぐため、接続部に柔軟性を持たせる地震対策を実施します。 ②浸水対策を強化します 雨水枝線整備や一時貯留施設を設置し、道路冠水や住宅浸水の防止といった浸水対策の取組を強化します。 ③下水道事業の経営健全化を図ります 民間企業のデジタル技術等を活用することで、技術職員の不足や下水道施設の老朽化等を解決します。また、社会情勢に応じ、下水道使用料の見直しを図り、持続可能な下水道事業の運営を進めます。	①①2行目について、文章として成り立っていないので修正した方が良いと思う。「また、災害拠点病院等の下水管とマンホールの接続部を地震による～」 ②パブコメ前に修正済み						
	循環共生型社会の推進	施策3-321	市のみならず、市民や事業者も含めたゼロカーボンに向けた意識が共有化され、各主体において再生可能エネルギーの活用や省エネルギーの推進などの取組が行われています。また、環境に配慮した生活や事業活動が行われることで、公害の低減や各種環境基準値の厳守が実施されており、誰もが安心して快適に過ごせる生活環境となっています。 ごみの発生・排出が抑制され、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の取組が進み、持続可能な資源循環型社会が構築されています。			①②の本文「また、子どもやその保護者に対し環境に関する学習会を実施し、市民の環境配慮に対する意識を深めます。」を以下の通り修正。「また、幅広い市民に対し環境に関する学習会等を、団体や事業者と連携・協力を図り実施し、市民の環境配慮に対する意識を深めます。」と修正してほしい。【理由】「地域事業者との連携」も含めた「社会に開かれた教育」が、より一層重要であると考えるから。 ②左記の意見を踏まえ、「また、幅広い市民に対し環境に関する学習会等を、地域事業者と連携・協力を図り実施し、市民の環境配慮に対する意識を深めます。」に修正。					

基本理念	将来像	基本目標	施策番号	施策名	10年後の姿	施策推進の方向性	第7回審議会		パブコメ	
							委員意見	清瀬市対応	市民意見	清瀬市対応
ともに未来をひらき笑顔とみどりがあふれるまち清瀬	「安全・安心・快適に暮らせる」きよせ	環境にやさしい取組の推進	施策3-322	自然と調和したまちの整備	市民のニーズに応じて整備された特色のある公園を、多くの市民が快適に利用しています。また、雑木林、崖線などの緑地や豊かな自然環境が適切に保全されています。	<p>①公園・緑地を適切に維持管理します 公園や緑地は、市民の身近な憩いの場であり、健康増進やレクリエーション、防災、環境保全といった多面的な機能を持つ公共空間であることから、子どもから高齢者まで安全・安心かつ快適に利用できるよう、公園・緑地の適切な維持管理に努めます。</p> <p>②市民協働による公園・緑地の活用を行います 公園や緑地は、地域住民の交流を深め、地域のつながりを育むコミュニティの拠点としての役割を担っています。地域コミュニティの活性化や多様な世代や立場の方々が集う場所として公園や緑地が親しまれるよう、市民や市民団体等が行う活用に資する取組について支援を行います。</p> <p>③都立公園の整備を目指します 都立公園は広く都民の憩い・防災拠点・自然環境保全の場として機能しています。清瀬の豊かな自然を守り、育てながら、市民がみどりのなかで心身の健康を育むことができるまちを実現するため、都立公園の整備について東京都に働きかけます。</p>	<p>①施策3.2.2について、清瀬はみどりをアピールできるはずなのに、施策があっさりしているような気がする</p> <p>②10年後の姿があっさりしている</p>	<p>①②を踏まえ、10年後の姿を以下のとおり修正する。「市民のニーズに応じて整備された特色のある公園を、多くの市民が快適に利用しています。また、雑木林、崖線などの緑地は、豊かな自然環境が適切に保全され、地域の生態系を守る役割を果たすとともに、四季折々の美しい景観を提供し、多様な活動を楽しむ場所として機能しています。」</p>	<p>①「市民協働による公園・緑地の活用を行います」とあります、活用に限らず緑地の整備への市民参加を提倡したら如何ですか（植樹実施、緑の多い庭の整備等）？</p>	<p>①植樹などのイベントの際は、市民参画で実施することはできるが、基本計画に載せる程の実施機会はないため、記載しない。</p>
		安全・安心な暮らしの実現	施策3-331	防災・防犯体制の充実・強化	公助の役割を担う行政において防災・防犯体制が十分に構築されているとともに、消防や警察等の関係機関との連携体制の強化や、市民・事業者など各主体にも高い防災・防犯意識を醸成することで、自助・共助・公助が適切なバランスで整っています。	<p>①危機管理体制の充実・強化を図ります 災害発生など、さまざまな緊急事態に適切に対応することができるよう、危機管理体制を強化します。 公助として市の災害対応能力を向上させるとともに、東京都をはじめとする関係団体との連携を一層強化し、市民・都市・市・防災関係機関等が、それぞれの役割と責任のもとに相互に連携・協力して、防災対策・災害医療対策等を着実に行うことにより、安心して生活することができる地域社会を実現します。</p> <p>②安全・安心に過ごせる避難者支援体制の充実・強化を図ります 避難所生活で直面する問題点を解決するため、プライベートスペースの確保やバリアフリー化に必要な備蓄品などを整備するとともに、消防や警察等の関係機関との連携体制の強化や、市民・事業者など各主体にも高い防災・防犯意識を醸成することで、自助・共助・公助が適切なバランスで整っています。</p> <p>③消防団機能の充実・強化を図ります 大規模災害等に備え、清瀬消防署と連携し、実戦的な訓練を実施します。併せて、災害実態や清瀬市の特性に合わせた装備の充実を図ります。 加えて、消防団機能の強化や団員のモチベーション維持のため、消防団活動の意義や社会的価値をPRし、家族や職場、地域の理解を得られるよう取り組みます。</p> <p>④防犯対策事業の充実に取り組みます 犯罪を未然に防止するため、青色回転灯装備車による広報回数を充実させます。また、警察等関係機関と連携し、市内のパトロールを強化します。また、特殊詐欺について、市民に対する注意喚起を行うとともに、特殊詐欺被害防止サポーター養成講座を実施することで、市民間でも注意喚起を行える体制づくりに取り組みます。</p>	<p>①施策3.3.1の②の3行目について情報収集だけではなく「情報提供」という言葉を入れた方が良いのでは。</p> <p>②施策3.3.1の②について、ストレスによって「精神的不安」や「身体的不調」生じることも考えられる。</p> <p>③施策3.3.1の③について、消防団員の確保については大丈夫か</p>	<p>①パブコメ前に修正済み</p> <p>②「様々な」と「によるストレス」を削除し、「精神的不安や身体的不調などが想定されるため」と修正する</p> <p>③消防団員の確保については、④の「消防団機能の強化」に包含しており、具体的な取組は実行計画にて検討</p>	<p>①「在宅避難の準備・支援に先進的に取組みます」と記載してほしい</p> <p>②清瀬市は都心への通勤者も多く、昼間帯に地域に残るのは主に高齢者・子ども・女性なので、施策の中に「高齢者・女性・子ども」の視点をより明確に位置づけ、これらの層が主体的に関わる繋がりの構築を推進してもらいたい。この繋がりは防災にとどまらず、防犯や見守り活動とも連動されることで、地域全体の安心感と絆を高める仕組みづくりや地域コミュニティの活性化にもつながる</p>	<p>①在宅避難については、②に記載済み、具体的な取組については実行計画にて検討</p> <p>②「高齢者・子ども・女性」についても④に包含していると考える。より具体的な取組や限定的な事業については実行計画にて検討</p>
		地域産業の振興	施策4-411	産業・観光の振興	市と清瀬商工会や清瀬市観光協会などの関係機関が連携し、各種施策を取り組むことで市内産業が活性化し、街のにぎわいが創出されています。また、農のある風景が保全され多くの市民や来訪者が農業を身近に感じ、地元で生産された新鮮かつ安全・安心な農産物が提供されるような活気ある農業が安定的に営まれています。	<p>①市内中小企業の振興を図ります 「清瀬市創業支援等事業計画」に基づき、関係機関と連携し、中小企業の創業を支援することや、事業承継に関する個別相談会の開催などにより事業の持続化を図るほか、小口事業資金融資のあっせんや製品開発、販路開拓などに対する幅広い支援を継続していきます。</p> <p>②まちの活性化を図ります 商店街の活性化に向けてイベント事業等の支援を行うことにより、市内外を問わず商店街を訪れる人を増やし、まちにぎわい創出を支援します。また、住宅の修理・改修の際ににおける市内事業者の紹介やキャッシュレス決済の導入など消費者のニーズに合わせたソフト面・ハード面での支援制度の推進に加え、店舗の魅力発信や新たな魅力創出に向けた支援、そして公民連携の推進により地域経済の活性化を図ります。</p> <p>③農のある風景を保全し、農業振興を図ります 農地賃借を促進することやふれあい農業の場の提供等により、農地の保全や市民の農業への理解を深めます。また、スマート農業の推進に向けた取組のほか、環境保全型農業の推進や生産基盤の整備を促進することで生産性の向上を図ります。さらに、学校給食等での地場農産物の使用拡大を進めることや、オリジナル商品の開発、販売により地産地消の促進を図ります。</p> <p>④観光を通じた産業振興を図ります 市と清瀬商工会や清瀬市観光協会などの関係機関が連携し、観光資源の掘り起こしや既存の資源の磨き上げを行い、観光ブランドの向上など観光施策を推進し、交流人口の増加を図ることで市内の産業振興及び地域活性化を推進します。</p>				

基本理念	将来像	基本目標	施策番号	施策名	10年後の姿	施策推進の方向性	第7回審議会		パブコメ			
							委員意見	清瀬市対応	市民意見	清瀬市対応		
ともに未来をひらき笑顔とみどりがあふれるまち清瀬	まちの魅力の創造と発信	施策4-421	清瀬の未来の創造			①地域の特性を活かした都市づくりを推進します 日本全体の人口が減少局面を迎えるなかで、都心に近いベッドタウンである点や、みどりと農のある風景など自然環境が調和している地域特性を活かし、コンパクトシティ※としての都市の利便性の維持向上を図ります。 ※都市農業や医療・福祉施設、高等教育機関が集積する快適性と利便性を備えた清瀬市の特色	①①「拠点の特性を活かした」の「拠点」がわからない ②清瀬駅周辺をリニューアルします、について、秋津駅はどうなるのか ③施策4-21の②について、「など」って書くんだったら、「バス・タクシー」だけで良いのでは。	①パブコメ前に「地域の特性を活かした」と修正済み ②パブコメ前に「秋津駅周辺の整備を進めます」と追記済み ③パブコメ前に、「歩行やバス、乗用車などが接続する~」と修正済み	①②のタイトルを「全世代に利便性と居場所・交流機会を提供し、市内消費拡大にも資する、大型商業施設を誘致します」としてほしい。【理由】計画されている「東3-4-13号(練馬東村山線)」の整備時に複十字病院が移転統合した場合に、その跡地を活用することで実現可能と考える。	①③に包含されている。より具体的な取組は実行計画にて検討		
						②秋津駅周辺の整備を進めます 秋津駅周辺の安全な道路環境の実現を図るとともに、近隣市及び鉄道事業者との連携を図り駅周辺の整備を進めます。						
		施策4-422	シティプロモーションの推進			③清瀬駅周辺をリニューアルします 北口周辺は活力とにかく生み出す商業・業務機能を充実させるとともに、南口周辺は都市計画決定されている道路や駅前広場の整備を進めるとともに、歩行者やバス、乗用車などが接続する交通結節点の機能を強化します。						
						④企業誘致や雇用促進による地域経済活性化を推進します 地域の特性に応じた企業の誘致や雇用の促進により、地域経済の活性化を図ります。これにより、にぎわいの創出や生活環境の利便性を向上し持続可能な経済発展を目指します。						
	職員が力を発揮できる組織づくり	施策4-431	職員の育成強化と組織の強化			⑤下宿地域の一体的整備を実施します スポーツ施設の集積を活かしたスポーツや健康づくりを楽しめる地域として一体的に整備します。 また、都市高速鉄道12号線等の新駅設置に向けた取組を推進し、新駅を中心とした交通ネットワークの構築を促すとともに、周辺地域の適切な土地利用を計画的に行い、北部地域の生活利便性の向上を図ります。						
						⑥新たにぎわいの創出と地域資源を活かした地域の活性化に取り組みます 新たにぎわいの創出と地域資源を活かし、市民やさまざまな主体と連携したイベント開催や新商品の開発・製作販売を行い、関係人口や交流人口の増加につなげることで地域の活性化を図ります。	①清瀬の特長を入れては ②④②の④について、「シックプライド」という言葉よりも「郷土愛」が適切なのではないか。 ③③について「活用」が抜けている。保存と活用があって継承なので、「活用」を足してほしい	①清瀬らしさは実行計画や写真で出す ②シックプライドは「都市に対する市民の誇り」を意味し、単なる郷土愛とは異なり、「自分たちが住むまちをより良くしよう」という当事者意識に基づいた自負心や愛着のことであることから、「シックプライド」のまとまる ③パブコメ前に追記済み	①「世界規模での医療協力と気象データ管理に貢献します」を入れてほしい。【理由】市内の「結核研究所」では、海外で結核の予防・治療に携わる人材を教育しており、「国立看護大学校」の設立目的のひとつは「国際的な医療支援従事者の育成」と聞いています。また「気象衛星センター」は、地球規模で各国と連携協力し、気象観測データの取得・分析を担っています。これらの一層の推進は、大きなアピールポイントになると考えます。	①左記のご意見はシティプロモーションで使える地域資源の一つであり、④や⑥の方向性に包含される内容である。 より具体的な取組は実行計画にて検討		
		施策4-432	業務変革の推進			⑦市政情報をわかりやすく、より便利に利用できる環境整備を行います ユニークデザインの使用を推進するとともに、SNSや動画配信を活用した市の魅力を横断的に発信に努めるとともに市政情報をお伝えします。 ⑧郷土文化と歴史への理解と継承を行います 市の歴史や郷土文化の横断的な発信に努め、市民の理解と愛着を深めます。また文化財の保全や歴史資料の収集、保存・活用、郷土芸能や地域祭事の支援を行い、市の歴史や文化を後世に引き継ぎます。						
						⑨シックプライド※の醸成とブランド価値の向上に取り組みます 新たにぎわいの創出と地域資源の活用による地域活性化を行い、市のブランド価値向上を目指すとともに、市の歴史や文化への理解を深めることで、市民が自らのまちに愛着と誇りを抱き、満足して住み続けたいまちを目指します。 ※住民が自分の住む地域に対して持つ誇りや愛着						
	「活気があふれる」きよせ	施策4-431	職員の育成強化と組織の強化			⑩中長期的な視点をもった人材の確保と育成を行います 様々な手段を講じて公務労働の魅力を発信し、優秀な人材の確保を図っています。 また、めまぐるしく変化する社会情勢・行政を取り巻く環境に対して、中長期的な視点を持って職員の育成を行い、多様化・高度化する市民ニーズに迅速かつ確に対応します。	⑪AIについては? ⑫仮にAIエージェントを職員構成の中に取り入れていくのであれば、特筆しておくべきだと思う	①～②施策432にAIの活用について掲載済み ③パブコメ前に修正済み ④パブコメ前に修正済み				
						⑬職員が能力を発揮するための環境整備を行います 職員一人ひとりが心身の健康管理に努めながら、能力を十分に発揮できる環境を整えるとともに、仕事と育児・介護の両立支援等を行うことにより、職員の適切なワークライフバランスを推進します。また、業務改善に向けた主体的な取組を支援します。	⑭②について、「職員」や「意識」が複数回出てくるので、文章を以下のとおり変えては。 「業務改善に向けた主体的な取組を支援します」としてはどうか。 ⑮④④行目について、「それぞれが有する資源を」の「それぞれ」が何を指しているのかわからない					
	職員が力を発揮できる組織づくり	施策4-432	業務変革の推進			⑯デジタル人材を育成・活用します 高度専門人材※1の助言により、本市におけるデジタル人材育成を進めています。府内のデジタル化推進の核となるDX推進リーダー※2に研修を提供します。更に、全職員向けに基本的なデジタルスキルを向上させるための研修を実施します。実践的なプロジェクトを通じて学んだ知識を活用し、現場でのデジタル化を推進することで、実務に対応できる能力を養成します。 ※1:DXの方向性や事業の意思決定をするCIO（副市長）を補佐する役割を担います。 ※2:DXを活用し、府内における業務変革を主導する役割を担います。						
						⑰デジタル技術を活用した行政の高度化と情報基盤の強化を図ります 行政サービスの効率化と利便性向上を目指し、デジタル技術を活用した業務の見直しやデジタル基盤整備に取り組みます。仕事やサービスの流れを最初から最後まで、すべてデジタル技術を使って効率化する一気通貫のデジタル化を実現するため、内部業務や手続きのデジタル化を推進します。また、AIなどの先進技術も活用し、業務プロセスの革新と効果的な行政運営を実現します。						

基本理念	将来像	基本目標	施策番号	施策名	10年後の姿	施策推進の方向性	第7回審議会		パブコメ		
							委員意見	清瀬市対応	市民意見	清瀬市対応	
ともに未来をひらく笑顔とみどりがあふれるまち清瀬	「活気があふれる」きよせ	健全な行政財政の運営	施策4-441	持続可能な財政の運営	本格的な人口減少社会が到来し、市財政がますます厳しさを増す中で、市民サービスを維持しながら行財政改革を進め、市財政の健全化が図られています。	<p>①自主財源の拡充に取り組みます 市税徴収率の向上を目指した取り組みを推進して、市税収入の確保を図ります。また、未利用の公有地を活用した企業誘致により地域経済の活性化を促進し、市内就業者の増加を通じて税収の増加につながる施策を展開します。さらに、使用料、手数料についても受益者負担の適正化に努め、寄附金などの税外収入の増加を図るなど、あらゆる財政力の強化策に取り組みます。</p> <p>②事業の見直しや民間の活力を活用し、行財政改革を推進します。 既成概念にとらわれることなく、創意工夫を活かした行財政改革を推進し、市の取り組みを継続的に見直します。これにより、業務遂行の効率化を実現するとともに、民間の力の活用などにより、行政サービスの向上と適正化に努めます。</p>		<p>①②ともに市民協働に関する文言の記載はせず、「施策反映に活用できるよう努めます。」にとどめたい。 <u>理由としては、公共施設の再編は急務であり、市民にとっての有効活用は、時代背景にあった施策に反映することで、市民にとっての有効活用につながると考えられるため。</u></p>			
			施策4-442	長期的な視点に立った公共施設等の維持・活用	公共施設の適正化の取組が着実に推進しています。また、各公共施設がその利用目的に応じて、環境に配慮しつつ使いやすく機能的な施設として適切に管理され、市民が安全・安心に利活用しています。	<p>①公共施設等の総合的かつ計画的な整備・管理を図ります 施設の利用状況の推移を踏まえて、更新や統廃合、建物の延命化を目指した維持・補修などを計画的に行い、財政負担の軽減や平準化を図ることで、公共施設等の適正な維持管理を図ります。また、市が保有する公共施設等の利用目的や維持管理費などの基本的な情報や、今後の修繕・改修計画に必要となる詳細なデータを一元的に整理し適切な情報周知を行い市民理解の促進を図ります。</p> <p>②公共施設等の有効活用を図ります 行政需要の多様化や市民のライフスタイルの変化の中において、公共施設等総合管理計画に基づき適切な公共サービスの提供と安定した財政運営の両立を図ります。また、今後的人口動向や地域社会の変化を踏まえつつ、公共施設再編や低・未利用地（施設）の有効活用を図ります。</p>	<p>①②、有効活用を図るとあるが、市民と行政有効活用するのか ②市民のにとっていかに有効活用できるか考えていくという表現だと良いと思う。</p>	<p>①②ともに市民協働に関する文言の記載はせず、「施策反映に活用できるよう努めます。」にとどめたい。 <u>理由としては、公共施設の再編は急務であり、市民にとっての有効活用は、時代背景にあった施策に反映することで、市民にとっての有効活用につながると考えられるため。</u></p>			
						<p>①4ページ将来像12行目に「また、成長後も学び続けられるように、・・・」とあるが、「成長後」とあると大人になると成長しないような印象を受けるが、書いてあることは「子どもも大人も学び合って成長する」ということであり、矛盾が生じるため、他の表現にした方が良い。</p> <p>②SDGsマークについて、突然出てきたので意図がわからない</p> <p>③SDGsの話について、前はSDGs未来都市が載っていたので清瀬市オリジナルかと思っていたが、SDGsのマークをそのまま持っているが、「誰一人取り残さない」という言葉はSDGsの理念なので、そのままのマークを使うのであれば表記を変えた方が良いのでは。</p>	<p>①パブコメ前に修正済み ②パブコメでは削除、完成版には説明を入れる ③「誰一人取り残さない」という言葉は確かにSDGsの基本理念ではあるが、清瀬市の基本目標として「誰一人取り残さない支援の充実」と定めた。問題はないと考えている。SDGsや、清瀬市の取り組みとの連動性については、序論等に掲載予定</p>	<p>①312、10年後の姿、「市内外のアクセス向上」とあるが市内外とは具体的にどこを指しているか ②322、都立公園はどこを指しているか ③大江戸線延伸の件を載せてほしい ④図書館を復活させてほしい ⑤施策422、311、411畠や田んぼに触れる体験がなくなったのが悲しい ⑥123、212、221図書館を復活させてほしい ⑦221、222赤字になっている医療機関への支援 ⑧411、421本屋がないことに教育的側面で、懸念している。国や自治体が崩壊するのは教育・文化方面からではないか。本屋も図書館もなくなり、清瀬市が発展しない。見かけなく中身、土台（農業や教育）に注力してほしい。 ⑨パブコメを若い世代が読む工夫を ⑩市報の既読率を調査しては？</p>	<p>①要確認 ②現在市内には一つもないでの、今後整備していくかと考えている ③施策422に載せている ④回答作成中 ⑤実行計画等で事業を検討 ⑥回答作成中 ⑦回答作成中 ⑧回答作成中 ⑨回答作成中 ⑩回答作成中</p>		

その他意見や質問等